

大判印刷とフィニッシングの ワークフローを合理化



i-cut Suite

i-cut Suite はミスを排除し、工数と無駄を削減します。

i-cut Suite は、大判デジタルプリンターやデジタルフィニッシングシステムのユーザー向けに開発されたプリプレスソフトウェアスイートです。入稿ジョブ情報の種類、ソース、多様性にかかわらず、大判製作の効率と収益をアップさせます。

大判印刷のワークフローを合理化

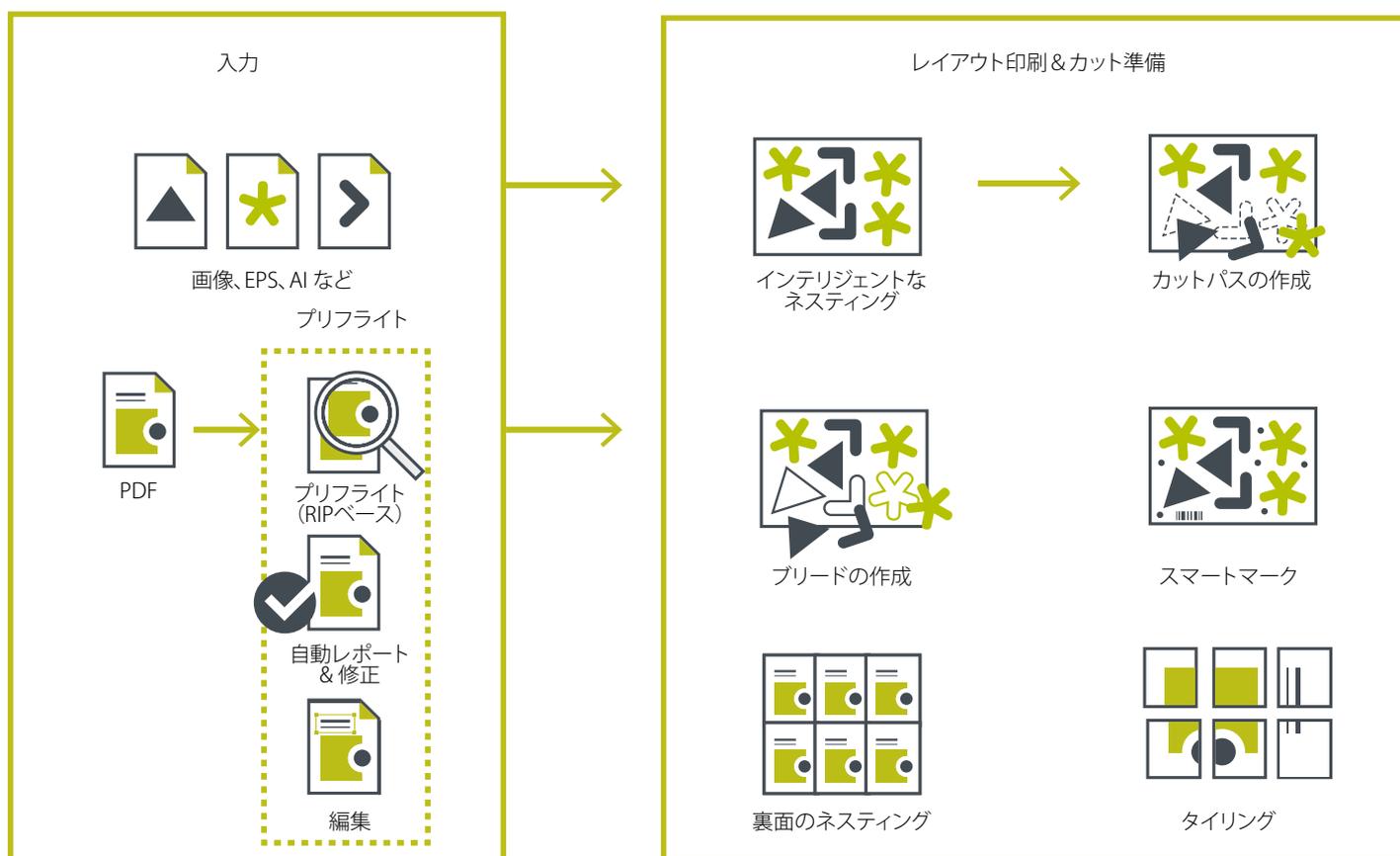
●● *i-cut Suite*でミスを排除し、工数と無駄を削減



i-cut Suite の構成

- ***i-cut Preflight***: シンプルな PDF プリフライトおよび編集
- ***i-cut Layout***: シートレイアウトの最適化
- ***i-cut Layout Essential***: サインワークフローの作成
- ***i-cut Production Console***: 完全な見当合わせでのフィニッシング
- ***Automation Engine***: プリプレスワークフロー全体を自動化

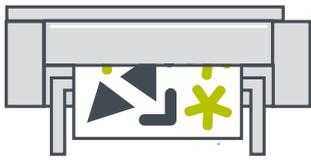
i-cut Suite



ご存知でしたか？

i-cut Suite ワークフローは、プリフライトからレイアウトまでを完全自動化できます。

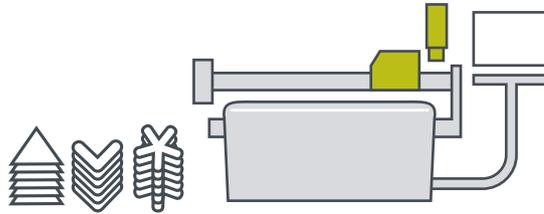
印刷



大判プリンター

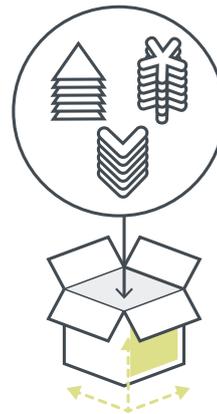


フィニッシング



完璧なデジタルフィニッシング
i-cut プロダクションコンソール

カット情報



ご存知でしたか？

i-cut Layout から直接、カスタマイズした
配送用ボックスを作成できます。

プリフライトと編集:i-cut Preflight

- 手遅れになってからファイルの間違いに気づくことにうんざりしていませんか?ちょっとした変更をするために、さまざまなネイティブアプリケーションに戻るの面倒ではないですか?

i-cut Preflight は、デジタル大判印刷用のシンプルな PDF プリフライトソリューションです。

i-cut Preflight は、正確なワークフローへの出発点です。問題があれば印刷前に自動的に知らせます。Adobe® Illustrator® に戻って、正しく印刷されない理由を調べるのに時間をかける必要はありません。*i-cut Preflight* がレポートを自動生成します。

使用するフォントがシステムにない場合でも、テキストを編集できます。複数ページの PDF の編集、バウンディングボックスの調整、低解像度画像の置換、RGB から CMYK への変換、自動的なフラットニングの他、

カットパスの作成や最適化、ブリードや白版の追加も可能です。

Esko のワークフローサーバーである Automation Engine を使用することで、プリフライトを完全自動化します。*i-cut Preflight* でプリフライトプロファイルを構築し、Automation Engine のワークフローで実行します。オペレーターによる介入が必要な場合は、通知が送られます。ワークフローが保留状態となるので、オペレーターはファイルをチェック、修正できます。これらの作業が終了すると、ワークフローが再開します。



PDF の編集やプリフライトが容易に

グラフィックの準備:i-cut Layout

- カットパスの抽出やブリードの作成のために Illustrator® や Photoshop® に戻るのは面倒ではありませんか？

カットパスの作成

Adobe Illustrator や Adobe Photoshop でのカットパス作成には、多くの手間がかかります。i-cut Layout なら、カットパスを簡単に作成できます。専用ツールが、画像上でカットアウトラインを作成・クリーンアップします。



カットアウトラインを直接作成・クリーンアップ



自動ブリード生成ツールで見当のズレを予防

ブリードの作成

カットのアウトラインとグラフィックの端が重なっている場合、印刷とカットの見当ズレがあると、細い白線ができてしまいます。これを防ぐために、i-cut Layout には自動ブリード生成ツールが備わっています。このツールのパワフルな機能は、カットアウトラインの外側に使用できるイメージデータがない場合、イメージピクセルを複製します。

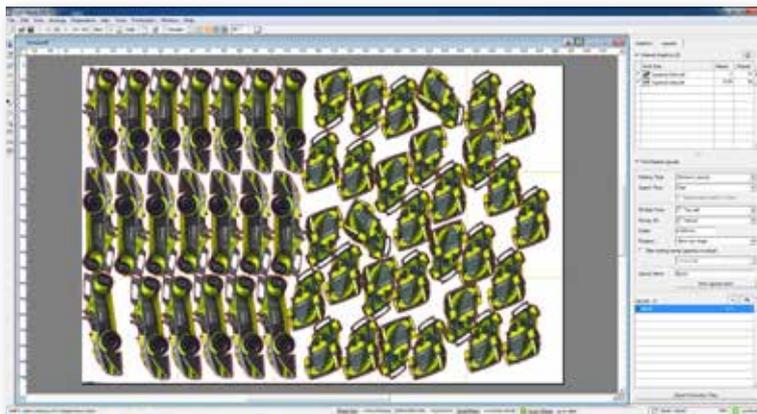
グラフィックの拡張

バナーやフラッグなど、布地を使用する製作物では、印刷による変形を補正する場合や、印刷物の縁に折り返しを追加する時に、グラフィックの拡張が必要になることが多くあります。グラフィック拡張機能では、既にあるデータをミラーリングできるため、両面グラフィックの場合でも、簡単に拡張できます。



布地への印刷時にグラフィックを拡張して変形を補正

ネスティングとタイリング:i-cut Layout



実際の形状に従ったネスティングで、コスト効率の良いレイアウト

ネスティング

i-cut Layout はシートレイアウトを最適化します。長方形、不規則形状、両面ジョブ、大型ジョブでも、i-cut Layout は常に、最もコスト効率の高いレイアウトを作成します。

ジョブに応じた、様々な最適化の手法を備えています。

- 他のほとんどのソフトウェアとは反対に、**不規則な形状**を処理する場合でも、正確なカットアウトラインに沿ってデザインをネスティングします。
- **規則的な形状**のフィニッシング時には、最低限のカットを行い、ダブルカットを防ぎます。
- **両面のジョブ**では、裏面のレイアウトが自動的に生成されるため、表裏のデザインは、常に一致しています。

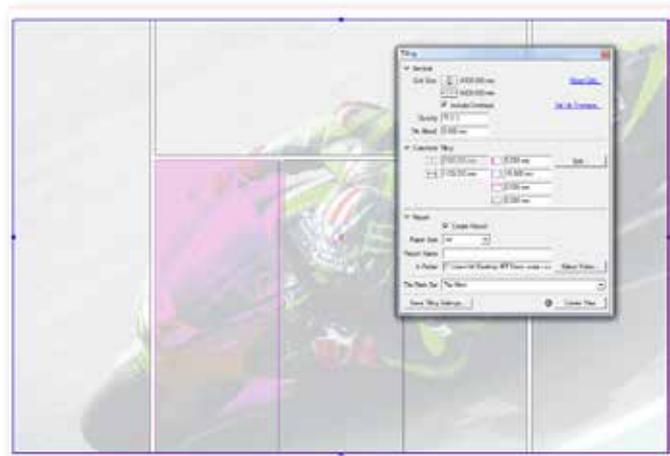
再印刷が多いジョブでは、配置数を最大化する設定を使うことで、基材を最大限に活かします。

タイリング

i-cut Layout は、ビルボードのような大型ジョブに最適です。さまざまなサイズの間隙や重なりを追加できるだけでなく、

建物のファサード、壁面印刷、店舗ディスプレイなどの特殊な用途には、不規則なタイルを指定できます。

これらのタイリング設定をテンプレートとして保存することで、以降のジョブの準備時間を大幅に短縮できます。また、組み立てレポートが組み立てを効率化します。



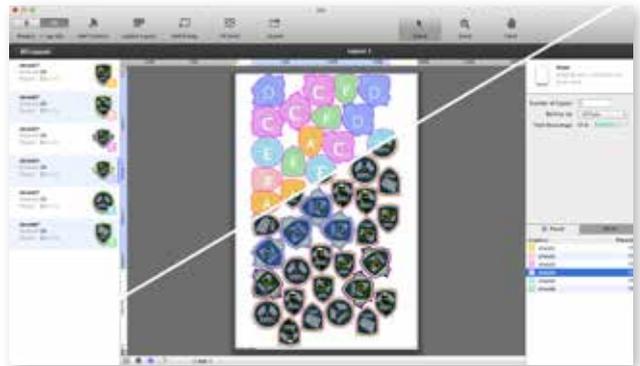
別々のタイルを修正し、将来使用するためにタイリング設定をテンプレートとして保存

i-cut Layout Essential

サイン製作に不可欠なソフトウェア

i-cut Layout Essentialは、サイン製作のプロに必要な不可欠な機能をすべて備えています。グラフィックの追加、製作設定の入力、カットラインの作成、ダイナミックマークの追加、実形の正確なネスティング、PDFのエクспортやファイルのカットなどは、どのようなサインワークフローでも中核的な作業です。

MacでもWindowsでも動作するi-cut Layout Essentialは、シンプルで直感的なユーザーインターフェースを備えており、極めて短期間で習得できます。



直感的なユーザーインターフェースでインテリジェントなネスティングが可能



複数のジョブを同時進行することで、ジョブ準備時間を極限まで短縮

準備期間の短縮

i-cut Layout Essentialでは、複数のサイン製作ジョブを同時に作業できるため、コンピュータのパフォーマンスを無駄にすることがありません。

間違いのリスクを排除して準備時間を極限まで短縮するため、急ぎの注文や小ロットジョブに最適です。

自動化

Automation Engine は、*i-cut Suite* の工程をつなぎ合わせ、プリプレス製作プロセス全体を自動化します。

Automation Engine の登場で、ホットホルダーで連携可能なダイナミックなワークフローの中で、*i-cut Suite* の機能が全て利用できるようになりました。これは、オペレーターによる操作とミス的大幅削減を意味します。

Mac/PC のクライアント端末上で、オペレーターはワークフローを簡単に監視でき、必要に応じてジョブ進捗一覧リストから対話的な処理をすることも可能です。ジョブは自動的に処理されるため、オペレーターは繰り返し作業を行う必要がありません。

Automation Engine は MIS との連携も簡単です。XML データを介して、ジョブの作成やワークフローへのジョブパラメーター送信を自動化できます。

Automation Engine がプリプレス製作工程全体を自動化し、反復作業の必要性を排除



i-cut Production Console で見当合わせも完璧

製作の準備がすべて終わると、*i-cut* Layout は 2 つのファイルを作成します。1 つは印刷用の PDF ファイル、もう 1 つはカットに関する情報がすべて入ったカット用のファイルです。

i-cut Production Console は、抜木型を使わないカットアウトラインと印刷画像を完全に一致させます。他の方法では、印刷されたグラフィックとカットアウトラインがわずかにずれて、不合格品となることが多くあります。

i-cut Production Console では、カメラを使い、実際の印刷結果の寸法と位置で見当合わせを行い、グラフィックの形状に合わせてフィニッシングします。



最終結果（印刷物）上の実際の位置を使って見当合わせ